

あのね

2025
1

あのね
2025年 1月号
通巻388号
発行 福音館書店 宣伝課



もしも、あなたの町に人間のふりをして、こっそり暮らしている動物がいたとしたら？ 1月の新刊『ゴロゴロヤマネコ不動産 なんだかあやしいおすすめ物件』は、人間界にまぎれこんで暮らす動物たちが登場する、ちょっと不思議なお話です。作者の藤重ヒカルさんに、楽しいエッセイを綴っていただきました。

ヤマネコ不動産の秘密を追え！

藤重ヒカル

本日は、ヤマネコ不動産の猫山さんにお話をうかがいます。いやあ、やっとお会いできましたね。

「よろしくお話しします。『ゴロゴロ』」

早速ですが、ヤマネコ不動産はどんな会社なのですか？

「私どもは、主にA駅やK駅の商店街を中心に賃貸物件をご紹介させて頂いております。『ゴロゴロ』」

店舗がご専門？

「はい。商店街って、歩くだけでも楽しいですよ。でも近頃、シャッターを閉めたきりの店が増えていばす。そこで私どもでは、大家さんに新業態のご提案を行ったうえで、それにぴったりの借り手を探し、ご紹介しているのです。」

そこには新しい新しいお店ができれば、新しいお客さんがやってきばす。個性豊かな店が並ぶ、にぎわいのある商店街を作るべく、ヤマネコ不動産は日々励んでいるのです」

なるほど……言わば、コンサルという感じ？

「いえ、サルじゃなくてヤマネコ……」

あ、いいです……例えば、どんなお店をご紹介されたんですか？

「それはナイショ」

え？ ナイショ？

「守秘義務があるので。でも、この辺の



『ゴロゴロヤマネコ不動産』 なんだかあやしいおすすめ物件

藤重ヒカル 作／樋口モエ 画
定価1,870円(税込)
22×16cm／136ページ
小学中学年から

内容紹介



ある日、ぼくに届いた若草色のふうとう。差出人は、「信用第一、あなたの町のヤマネコ不動産」とかいてある。「あなたにぴったりのお店を格安でご紹介。ただし条件あり」だって。なにかへんだが気になって物件を見に行くと、あらわれたのは小柄な男。ゴロゴロのどをならしながら「ヤマネコ不動産の猫山」と名乗り、なぜか、どんぐりなんかすすめてきて……猫山さんが紹介する3つのあやしい物件が、皆に幸せをはこびます。



商店街を歩いてみて『いったい何の店だろう？』『なんでこの店、つぶれないんだろう？』と思ったら、ちよつとのぞいてみてください。そこで『おや、何か変だぞ』と思ったら……私どもが紹介したお店かもしれないよ。『ゴロゴロ』

変なお店が多いってことですか？

「ま、人間は変に思うかもしれないね」

え？ 人間は？

「あつ、いやいや『普通の人は』という意味ですよ。『ゴロゴロ』」

うーん……実は私が今日、猫山さんに取材をお願いしたのは、その辺に理由がありまして……最近この商店街に、

何か変な店が増えているような気がするのです。

やけにネコが集まる傘屋、謎の客でにぎわうレストラン、夜中にぼうつと光る町工場……調べてみると、どれもヤマネコ不動産の紹介物件なんです。

「ほほう。よく調べましたね。たしかにどれも私が自信をもつてご紹介し、私どものめざす事を実現した成功物件です」

めざす事とは？ まさか、商店街の乗っ取り？ 地上げ？？ 地面師？？

「まさか、まさか。貸す方も借りる方もみんなハッピー！ つまり共存共栄の街づくりですよ」

共存共栄？

「そう！ この多様性の時代、世代、性別、国籍、あらゆる垣根をこえた時に見えてくる、みんなが幸せを分かち合える理想の街！」

すべての人が幸せを分かち合える街をめざしているという事ですね？

「すべての人？ せまい、せまい！ すべての生き物がです。まさにイーハトーブのような街！ 『ゴロゴロ』」

イーハトーブって、宮沢賢治の？

「そう！ さすが、児童文学作家！ よくご存じで。（ここで猫山さんは何やらごそごそとポケットから取りだし）ま、おひとつどうぞ」

え？ どんぐり？ ……あ、『どんぐりと山猫』ってことですね？

「なんですか、それ？ ま、うまいですよ。バリバリ」

……

驚く私をよそに、猫山さんはどんぐりをほおばりながら、ニヤリと笑いました。

このあと、私は「何か変な店」を丹念に取材しました。そしてやっと聞き出せたのが、この本の3つのお話です。どれも意外な事実が……私はこの先も、ヤマネコ不動産を追い続けようと思います。ではまた！



やけにネコが集まる傘屋。奥突き当たりはA駅前商店街。(著者撮影)



ありがとう 中川李枝子さん



撮影 浅田政志

2024年10月、作家の中川李枝子さんが他界されました。「ぐりとぐら」シリーズをはじめ、『いやいやえん』『そらいろのたね』『ももいろのきりん』など、数多くの楽しい作品を子どもたちに届けてくださいました。いつの時代も子どもたちに愛され、楽しまれてきた絵本や童話をご紹介します。

山脇百合子さんのお仕事



ぐりとぐらは森で大きな卵を見つけました
ぐりとぐら
定価1,100円(税込)
28ページ
3才から



お客さまはだれ？
ぐりとぐらのクリスマス絵本
ぐりとぐらのおきゃくさま
定価1,100円(税込)
28ページ
3才から



ぐりとぐらの海での大冒険物語
ぐりとぐらのかいすいよく
定価1,100円(税込)
32ページ
4才から



毛糸の持ち主はだれだったの？……？
ぐりとぐらのえんそく
定価1,100円(税込)
32ページ
4才から



手長うさぎのくるりくらと出会ったぐりとぐら
ぐりとぐらとくるりくら
定価1,100円(税込)
32ページ
4才から



ぐりとぐらの大掃除は楽しくてダイナミック
ぐりとぐらのおおそうじ
定価1,100円(税込)
32ページ
3才から



とびきり大きなかぼちゃで、ごちそうをたくさん作って……
ぐりとぐらとすみれちゃん
定価1,100円(税込)
32ページ
3才から



いつも元気なぐりとぐらの1年間の暮らし
ぐりとぐらの1ねんかん
定価1,540円(税込)
28ページ
3才から



ぐりとぐらが歌って踊る12か月を描いた絵本
ぐりとぐらのうたうた12つき
定価1,320円(税込)
28ページ
3才から



リズミカルな言葉と楽しい絵のミニサイズ絵本
ぐりとぐらのあいうえおと1・2・3 [2冊]
定価1,540円(税込)
各24ページ
3才から



たねをうえるとき空色の家がはえてきた……！
そらいろのたね
定価1,100円(税込)
28ページ
4才から



仲間しコンビ・ゆうじとギックの真剣勝負
たからさがし
定価1,100円(税込)
28ページ
3才から



しっぽをもらって、ねこらくんに大変身！
ねこらくん
定価990円(税込)
32ページ
3才から



はねちゃんと動物たちが元気に体操します
はねはね はねちゃん
定価990円(税込)
20ページ
0才から



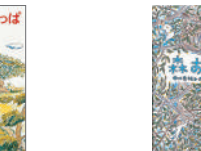
3匹のこぶたが保育園で大活躍するおはなし
こぶたはよくえん
定価990円(税込)
24ページ
2才から



エルタと一緒に「うたえみどりのしま」へ
かえるのエルタ
定価1,320円(税込)
112ページ
4才から



キャバツが好きなライオンと仲間たちのお話
らいおんみどりの日ようび
定価1,320円(税込)
120ページ
4才から



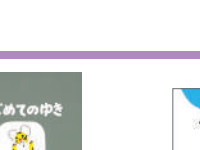
絵本から読み物への橋渡しに最適な童話集
おひさま はらっぱ
定価1,430円(税込)
192ページ
4才から



おばけの一家と子どもたちの愉快な交流
森おばけ
定価1,430円(税込)
184ページ
5・6才から



ふたごの犬は今日も探偵の訓練に大忙し！
わんわん村のおはなし
定価1,650円(税込)
164ページ
5・6才から



世界一きれいで大きな桃色のキリン・キリカ
ももいろのきりん
定価1,430円(税込)
88ページ
4才から



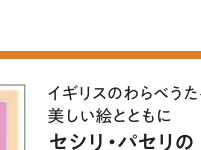
そり遊びの楽しさが味わる冬にぴったりの1冊
とらたとおおゆき
定価990円(税込)
24ページ
2才から



初めて見る白銀の世界に、浮足立つ気持ち
はじめてのゆき
定価990円(税込)
28ページ
3才から



くまさん、小さな冒険に、出発進行！
くまさん おでかけ
定価990円(税込)
24ページ
2才から

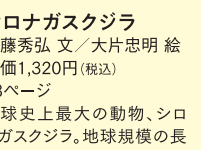


絵本のすばらしさを綴った、心温まる1冊
絵本と私
定価1,650円(税込)
216ページ
中学生から

中川宗弥さんのお仕事



パワーショベル！
鎌田歩 作
定価1,100円(税込)
24ページ
古くなった建物を解体するため、「アタッチメント」と呼ばれる先端のパーツを次々に交換しながら、パワーショベルが活躍します。



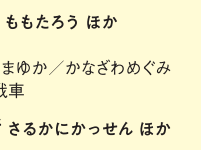
おやつどろぼう
阿部結 作
定価1,320円(税込)／32ページ
アカーキーは母さんのケーキを持ち去るおかしい生き物「しましま」を追いかけて、冷蔵庫の奥の「おかしい」世界へ迷い込みます。



シロナガスクジラ
加藤秀弘 文／大片忠明 絵
定価1,320円(税込)
28ページ
地球史上最大の動物、シロナガスクジラ。地球規模の旅をしなければ子孫を残せない、その宿命に迫ります。



よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】大島妙子／おくやまゆか／かなざわめぐみ
森田晶子／吉田戦車

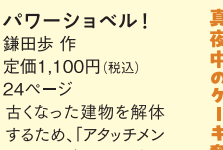


よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】北村人／伊野孝行／カシワイ
高野文子／たけがみたえ

1月の新刊



パワーショベル！
鎌田歩 作
定価1,100円(税込)
24ページ
古くなった建物を解体するため、「アタッチメント」と呼ばれる先端のパーツを次々に交換しながら、パワーショベルが活躍します。



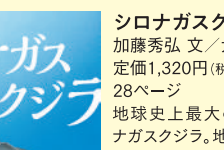
おやつどろぼう
阿部結 作
定価1,320円(税込)／32ページ
アカーキーは母さんのケーキを持ち去るおかしい生き物「しましま」を追いかけて、冷蔵庫の奥の「おかしい」世界へ迷い込みます。



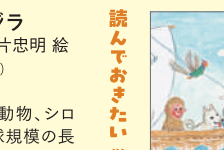
シロナガスクジラ
加藤秀弘 文／大片忠明 絵
定価1,320円(税込)
28ページ
地球史上最大の動物、シロナガスクジラ。地球規模の旅をしなければ子孫を残せない、その宿命に迫ります。



よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】大島妙子／おくやまゆか／かなざわめぐみ
森田晶子／吉田戦車



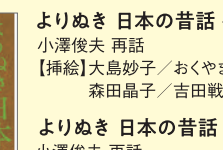
よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】北村人／伊野孝行／カシワイ
高野文子／たけがみたえ



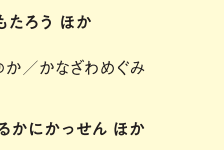
よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】大島妙子／おくやまゆか／かなざわめぐみ
森田晶子／吉田戦車



よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】大島妙子／おくやまゆか／かなざわめぐみ
森田晶子／吉田戦車



よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】大島妙子／おくやまゆか／かなざわめぐみ
森田晶子／吉田戦車



よけぬき日本の昔話
小澤俊夫 再話
【挿絵】大島妙子／おくやまゆか／かなざわめぐみ
森田晶子／吉田戦車

福音館の月刊誌 2月号のご紹介

ピックアップ



ともだちしりと
乾栄里子 文
西村敏雄 絵

こどものとも



ともだちしりと
乾栄里子 文
西村敏雄 絵



こどものとも 0.1.2.

ほわほわさん ぴかぴかさん
おくはらゆめ 作
ほわほわしたものとかぴかぴかしたものが会って一緒に遊びます。



こどものとも 年少版

あさの どうぶつえん
藤島由美 作
動物園の動物たちが朝ごはんを食べる様子を生き生きと描きます。

こどものとも

ハンガリーの昔話 みつつのふえを もらった ヤーノシュ
洞野志保 再話・絵
ヤーノシュは助けた動物たちにもらった笛でピンチを脱します

ちりぞき かがくのとも

まがりまーす とまりまーす
鎌田歩 作
信号の光、車の光。交差点にある光は、安全のためのメッセージ。



かがくのとも

カエデの あまい みず メーブルシロップのはなし
佐武絵里子 作
甘いメーブルシロップ。一体何から作られるか知っていますか？

たくさんふしぎ

小さな小さな粒、素粒子のはなし
藤本順平 文／倉部今日子 絵
この世界をつくる3種類の粒。その正体にせまります。

母の友

特集「子どもがおとなになった頃の社会」
休刊にともなう「さよなら特集」第3弾。
「家族」「仕事」「メディア」「気候変動」「平和」など、気になるテーマの専門家を訪ねます。